

## 盛岡市産学官連携研究センターの概要

## 1 設置目的

企業との共同研究や研究成果の地域還元の高い実績と評価を得ている岩手大学と盛岡市との連携により、市内の企業が抱える技術的課題の解決、新技術の研究開発や新規創業を支援するとともに、研究開発型企業の市内への新たな立地を促進することを目的とした施設。

平成 19 年 8 月に開設。

## 2 施設概要

## (1) 建物概要

- ア 名称：盛岡市産学官連携研究センター
- イ 所在地：盛岡市上田四丁目 3-5（岩手大学理工学部構内）
- ウ 構造：鉄筋コンクリート造 3 階建
- エ 面積：2,116.27 m<sup>2</sup>（延べ床面積）

## (2) 主要機能

## ア 研究開発支援機能

専任のインキュベーションマネージャー、岩手大学教員及び研究支援・産学連携センタースタッフによる技術指導・助言、共同研究開発マネジメントの支援を行うほか、岩手大学研究支援・産学連携センター所有の各種研究開発用機器が使用可能。

## イ 販売促進支援機能

インキュベーションマネージャー、岩手大学研究支援・産学連携センターによる、マーケティング及び販路開拓について支援（助言・指導）が受けられる。

## ウ 産学官民交流支援機能

市民、企業、大学教官、学生等が自由に交流可能な多目的スペースを確保

## (3) 主要室等

## ア 研究開発室及び事業化支援ブース（34 室 8 ブース）

| 室名                 | 面積                   | 室数      | 月額使用料    |
|--------------------|----------------------|---------|----------|
| 研究開発室<br>(オフィスタイプ) | 24.89 m <sup>2</sup> | 13 室    | 41,000 円 |
|                    | 27.02 m <sup>2</sup> | 3 室     | 44,500 円 |
|                    | 42.90 m <sup>2</sup> | 2 室     | 71,000 円 |
| 研究開発室<br>(実験室)     | 24.89 m <sup>2</sup> | 4 室     | 41,000 円 |
|                    | 28.16 m <sup>2</sup> | 2 室     | 46,500 円 |
|                    | 28.32 m <sup>2</sup> | 4 室     | 47,000 円 |
|                    | 28.82 m <sup>2</sup> | 4 室     | 47,500 円 |
|                    | 42.90 m <sup>2</sup> | 2 室     | 71,000 円 |
| 事業化支援ブース           | 51.25 m <sup>2</sup> | 8 ブース設置 | 15,000 円 |

※ 24 時間、365 日利用可能。

※ 研究開発室内で使用した電気、ガス、水道料金は、入居者の負担。

※ 退去時には、要現状復旧。そのために必要な経費は入居者の負担。

イ 会議室（156.52 m<sup>2</sup>）

可動間仕切りにより小会議室 2 室、中会議室 1 室に区画可能。

ウ 事務室（74.5 m<sup>2</sup>）エ リフレッシュルーム（59.58 m<sup>2</sup>）

## オ 連絡通路

2、3 階で岩手大学地域共同研究棟と連絡する。

## (4) 開館時間

午前 9 時から午後 6 時まで（研究開発室及び事業化支援ブースは 24 時間開館）

### 3 入居関係

#### (1) 入居対象者

- ア 新技術又は新製品の開発を行おうとする者で国立大学法人岩手大学と共同研究を実施する者
- イ 国立大学法人岩手大学の研究成果を基に新たな企業の創出をしようとする者又は創出した者
- ウ センターの機能の補完に寄与すると認められる者

#### (2) 入居期間

- ア 研究開発室の入居期間は、3年以内とする。ただし、審査のうえ、5年を超えない範囲内で更新することができる。
- イ 事業化支援ブースの入居期間は、1年以内とする。ただし、審査のうえ、2年を超えない範囲内で更新することができる。

### 4 インキュベーションマネージャー概要（令和7年度以降）

#### (1) 任用条件

経営、マーケティング、新技術・新製品開発その他企業全般に係る諸問題に対する専門知識及び実践的な技能・経験を有すること。

#### (2) 勤務日

週3日以上

#### (3) 相談受付実績（過年度）

| 令和5年度 | 令和4年度 | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和元年度 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 156件  | 110件  | 86件   | 59件   | 125件  |

### 5 卒業企業数（令和6年8月末時点）

55企業

### 6 管理運営経費（令和6年度予算）

- 人件費 5,086千円
  - 消耗品費 992千円
  - 備品費 220千円
  - 光熱水費 3,025千円
  - 修繕料 200千円
  - 委託料（清掃料、各種点検料等） 1,980千円
  - 通信料（電話料、通信料等） 270千円
  - 事業費（講師謝金・旅費等） 1,067千円
  - その他の経費 527千円
- 計 13,367千円